

県立君津特別支援学校の実践について

君津特別支援学校と富里特別支援学校の取組は、内容は違いますが目的は同じ、知的障害の教育課程の特徴である、領域、各教科等を合わせた指導、これに対して新学習指導要領の考え方をどのように反映していくか、ということです。

君津特別支援学校は、文部科学省の研究協力校として、3年間取り組んでいただきました。3年目の今年度は、これまでの研究で作成した単元記録表と評価表、そして各教科単元表がより授業づくり・授業改善に活かせるよう、見直しが図られました。

今回の研究で作成した単元記録表と評価表、そして各教科等内容表は、知的障害のある児童生徒の各教科等を合わせた指導における授業実践のツールとして、他校でも活用いただけるものと思います。各教科等を合わせた指導のPDCAサイクルによる授業づくりにより、知的障害のある児童生徒の質の高い学びにつながる実践となりました。

研究指定の3年は、これで終わりますが、今後も先行した実践を積んでいただければと思います。